

## 令和6年1月22日 自治会長会 質疑応答

○敬老会の補助金。75歳以上の対象者が今後増加する見込み。補助金1,000円/人の増額をしてほしい。⇒町全体で対象者が増加する見込みであり、増額は難しい。自治会で工夫を。

○災害発生時、自治会民の安否確認をせよ、とあるが、民生委員は、安否確認より、自身の身を守ることを優先するようになっている。⇒もちろん、身を守ることは最優先。

○こけないからだ体操の実施に町補助金は出るのか。⇒いきいきサロンの活動で2,000円/回

○空家バンクの登録方法と情報連携は⇒所有者から観光交流課に相談を。登録の際に、自治会の情報提供を依頼する。

○充電できないリチウムイオン電池の捨て方は。⇒家電量販店等などに依頼を。

○「避難所に自治会公民館の活用を」とあったが、耐震補強していない。補強等の補助金の有無は⇒耐震診断、改修工事に補助がある。

○各種委員に対し、報酬や会議出席等の謝礼は支払われているのか。⇒(それぞれ担当課で回答)

○防犯灯の設置。1基設置に高所作業車などが必要で10万円を超える。3万円上限の補助制度の増額を検討してほしい。⇒ポールを設置する場合も同様に高額となっている。イニシャルのほか、電気代に対する補助もあり、補助の増額は難しい。

○集会所を避難所活用するには階段に手すりを付ける改修が必要になる。補助制度はあるか。⇒バリアフリー改修の補助制度がある。

○健診の方法が6年度から変更になるが、自己負担への影響は。⇒変更しない。

○「間違いやすい再生資源の分別」の資料を自治会全戸に配布したい。⇒必要部数お渡しする。

○六尾自治会からの小学生の通学。左側通行で田んぼ側を歩いている。道路工事でさらに狭くなっており、通学路として危険。⇒通学方法等について学校から指導する。

○自治会の住民が増え、自治会総会を集会所で開くことが難しくなった。1月3日、閉館している中央公民館を利用できるようにしてほしい。⇒検討し、個別回答する。

○災害発生時、安否確認のその後はどうするのか。⇒役場からそれぞれの自治会に連絡するので、それに基づいて対応を。

○あいさつ運動の時、ケガをした小学生があった。対応は。⇒無事かどうかの確認をお願いしたい。

○自治会長会として、能登半島地震の義援金をしてはどうか。検討を。⇒自治会長会で検討

○交通災害共済。民間がすべきことで、行政で行うものでない。⇒そういう意見があるが、鳥取中部ふるさと広域連合が継続するということを決めた。

○能登半島地震。水が使えなかったり、停電したりした。これら町の対応は。⇒改善は難しいが、水道管などは更新で強くなっている。

○町の防災マップ。更新が必要では。⇒国県により、天神川、由良川の浸水調査が行われる。その終了後に更新する予定。